

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 木佐貫 恵

所属機関名(発表時) 九州大学大学院 医学研究院 病態修復内科学

発表学会名 The 16th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging ASCI 2023 (口演発表)

学会開催年月日 2023年 8月 10日～ 12日

演題名 Evaluation of Lung Perfusion by Dynamic Chest Radiography in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension:
Comparison with Lung Perfusion Scintigraphy

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

◇本 文

この度は学術研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。2023年8月10日～12日にインドネシアのBariで開催されたASCI (Asian Society of Cardiovascular Imaging) 2023に参加させていただきましたので、ご報告致します。

今回、出発前に大型台風が九州に接近しており出国できない可能性が十分にあったため、まずは無事に出発し学会参加できたことに安堵しました。到着してすぐに、ヤシの木や現地の方のカラフルな服が目にとまり、南国らしい雰囲気を感じる事が出来ました。

学会では日本を含むアジア各国から著明な先生方が講演されており、またアジアのみならず SCMR、NASCI、ESCR に所属する先生方からの招待講演もあり、多くの刺激を受けることができました。

私自身は、「慢性血栓塞栓性肺高血圧症の方における、DCR (Dynamic Chest Radiography) で得られる肺血流評価と肺血流シンチグラフィーとの比較検討」について発表致しました。初めての国際学会発表であり、質疑応答が上手くできずに心残りとなる部分もありました。ただし、座長の先生が興味を持ってくださってセッション終了後に多くの意見交換が出来たことが今後の励みとなりました。

また、同じく九州大学から河窪先生が Young Presenter Award session で発表されました。この session では、各国の先生方が独自性を持って様々な研究をされていることを学び、研究のモチベーションが高まりました。本学会で得た経験を今後の研究活動に活かし、さらなる研鑽に努めてまいります。

Bari には多くの寺院やきれいな海・自然があり、学会の合間に訪れて文化に触れることが出来たこともまた、貴重な体験でした。学会会場も、下記写真の通り Bariらしさが至るところにみられ興味深かったです。

最後になりますが、本学会への参加にあたり学術研究助成を賜りました日本心臓血管放射線研究会の皆様、またご指導いただきました山崎先生をはじめとする九州大学放射線科の先生方に改めて心より厚く御礼申し上げます。



中央が筆者。左:ご指導いただいた山崎先生、右:YPA session で発表された河窪先生